

トライやる・ウィーク



2年ぶりにトライやる・ウィークの中学生を受け入れることができました。

高丘中学校と大久保北中学校の学生11人での5日間のトライやるです。

しかし、今もコロナは終息したわけではありません。そのため様々なことにトライしてほしいと思う反面、患者の皆様への感染も十分配慮しなければなりません。

従来、病棟に5日間配置し、患者さんの病院生活、そしてそこに関わる医師・看護師その他コメディカルの仕事を知らせてもらう企画で行ってまいりました。しかしこのような状況下では病棟での体験は最小限としながらの5日間となりました。

中学生なので、どうして病院にトライやるに来ようと思ったのかと問いますと、テレビの影響は大きく、医療関連のドラマです。「コードブルー」や「ラジエーションハウス」「PICU」に感化され病院を、そして

そこで働く専門職に触れてみたい、知ってみたいという気持ちになったようです。

手洗い研修や、手術室の看護師体験、薬剤師、検査技師、放射線技師、理学療法士などから話を聞き、外来患者さんに挨拶をしたり、巡回バスにも乗ってみました。

地域の皆様と中学生が触れ合う機会ともなり、励ましの声をもらうことで学生は喜びを感じました。また、挨拶の大切さを知り、校門前の生徒会の挨拶運動でもきちんと挨拶をしたいと感想に書かれていたことは、このトライやる・ウィークの目的が果たせた一コマではないかと思われまます。これはトライやるに参加した中学生だけのものではなく、私たち病院職員にとっても励まされた5日間となりました。

特定医療法人 誠仁会
大久保病院

〒674-0051 明石市大久保町大窪2095-1
tel. (078) 935-2563
<http://www.seiinkai.or.jp/okubo/index.html>



交通機関をご利用の方

- JR山陽本線「大久保」駅下車、北へ徒歩15分
- 「大久保」駅北口より神姫バス
②のりば 19「山手台」行き
③のりば 12「西神中央」駅、「上岩岡」、「五百蔵」行き「山手小学校前」バス停下車、東へ徒歩5分

車をご利用の方

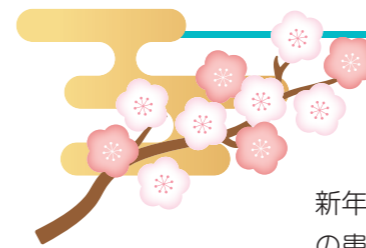
- 第二神明道路「大久保IC」より、大久保方面へ約10分

特定医療法人誠仁会

大久保病院だより

No.
48
令和5年
1月1日

編集・発行 | 特定医療法人誠仁会 大久保病院 地域医療連携室 ● 明石市大久保町大窪2095-1 TEL078(935)2680 FAX078(935)2684



新年のご挨拶

新年に当たり、整形外科、循環器内科、消化器内科の医師より地域の患者様に診療の紹介を含め一言抱負を述べさせて頂きました。



整形外科
石井 崇大

整形外科では「安全・確実・低侵襲」をモットーにチーム医療を強化し、先進の設備を駆使した質の高い治療を追求し続けています。長年、足の痛みやしびれに悩んでいる方も少なくないのではないのでしょうか。ご家族に相談しても、「いつもの訴え」だとあまり耳を傾けてくれなくなったという方もいらっしゃるかもしれません。しかし、足の痛みやしびれ、歩行困難には必ず原因があります。「年だから…」と諦めず、まずは一度ご相談ください。

患者さん一人ひとりのお悩みにしっかり寄り添いながら、原因を突き止め、適した治療法を提案させて頂きます。患者さんから「もっと早く診てもらえば良かった」「手術して良かった」と思っていただけのように、スタッフ一同真摯に対応します。



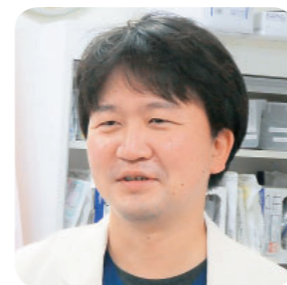
循環器内科
佳山 智生

コロナ禍に突入しはや数年が経ち、皆様心身共にお疲れのことと思います。外出時には検温やマスク着用が求められ、ワクチン接種は5回目が推奨されています。

一方、アメリカ中間選挙やサッカーワールドカップでは厳しい感染対策はなされず、国内との大きなギャップを感じました。

当院循環器内科では引き続き感染予防に努めつつ、心疾患の治療を必要とする患者様のために最善を尽くした診療を行います。

動脈硬化の原因となる生活習慣病の治療や予防も行っていますので、お気軽にご相談ください。



消化器内科
浅野 晴紀

消化器内科では、上下部消化管内視鏡検査・治療を中心に行っています。経鼻内視鏡や、鎮静剤を用いた内視鏡検査も行い、患者さんの苦痛にならないように努めています。

大腸検査に関しては大腸CT検査も導入しております。組織採取はできませんが、大腸内視鏡検査に比べ飲む下剤量が少なく、体への負担も少ないのが特徴です。また、検査時間も短時間(約10~15分)で済む事も大きな特徴です。

治療に関しては、ポリープの切除、消化管出血に対する止血術、早期胃がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)なども行っています。

消化器疾患は早期発見が大切ですので、気になることがあるときには気軽にご相談ください。



せん妄・不眠への ワーキンググループの取り組み

医療安全委員会

みなさんは急に環境が変わることで、身体の調子を崩すといった経験はありませんか。

病院に入院をするということもその環境の変化の一つです。あらかじめ入院することがわかっても、なれない環境の変化に対しては誰しもが不安になります。それが突然病気になるったり、ケガをしたりして入院を告げられると、不安や心配は相当なものになります。環境の変化が起こるとそれに順応するまでの期間、さまざまな症状が現れます。例えば不眠症、食欲の低下や便秘といった消化器症状など、自律神経の症状が多くみられます。これらの症状が引き金となって“せん妄”という状態が現れます。せん妄とは、意識の障害のことで、注意力の低下や、睡眠覚醒の異常、思考の障害に分けられます。

当院ではこういった事例を踏まえて、医療安全委員会のもとで、せん妄・不眠に対してのワーキンググループの活動を行っています。患者さんが入院する前にリスクの評価を行い、入院中のストレスからくる様々な症状を早く察知し、予防と治療を行います。

また、ワーキンググループのその取り組みの一つとして、院内の消灯時間の延長を行いました。これまで

原則21時が消灯時間でした。しかし多くの方々の就寝時間は、普段22時から23時ごろといわれ、入院後にいきなり21時に消灯といわれても無理がありました。そのため眠れないという訴えから安易に睡眠導入剤を処方することで、かえって薬の副作用からせん妄やふらつき、転倒、日中の不穏状態を作るきっかけとなっていました。こういった問題を解決すべく、消灯時間をこれまでよりも1時間遅らせ、普段の就寝時間に近づけることで睡眠リズムを崩さないような環境づくりを行っています。しかしそれでも入院という環境の変化から、どうしても眠りにつけない、夜間に目が覚めてしまうなどの訴えに対しては、症状に合わせた薬剤の提案を行っています。

今後もワーキンググループでは、入院を予定している患者さんの情報収集を行い、その情報をもとに各病棟と連携し、定期的に回診を行うことで、患者さんの入院という慣れない環境からおこる症状をあらかじめ予測し、その症状に早期に対応することで、入院中の治療の効果を上げるとともに、患者さんの療養環境を整えるようにさまざまな活動をしていきます。

やまてまつり&福祉フェスティバル

2022年12月4日(日)、山手小学校において「第12回やまてまつり&第3回福祉フェスティバル」(主催:やまてまつり実行委員会他)が開催され、大久保病院も参加しました。

大久保病院の健康チェックブースでは、“In Body”(体成分分析装置)による部位別の筋肉量や体脂肪量等の測定と血圧測定を行い、約40名の方に来ていただきました。たくさんのご来場、ありがとうございました。



大久保北健康まつり

11月5日(土)、第26回大久保北健康まつり(主催:大久保北コミュニティ・センター、後援:おおくぼ病院、明石市医師会)が3年ぶりに開催されました。

当日は天候にも恵まれ約200名の地域の方々にお越しいただきました。2020年、2021年は新型コロナのため開催を見送っておりましたが、今年は感染予防のため例年実施していた動脈硬化測定・骨密度測定・血圧測定・尿検査・肥満度・アロマ体験・体力測定・介護相談コーナー・医療相談コーナーなどは中止し、「みんな音楽を楽しもう」をテーマに大久保北中学校吹奏楽部に演奏していただきました。



3年生がクラブ活動を引退し1、2年生の体制になったばかりとは思えないほど迫力のある演奏を聞かせてくれました。その中で山村院長も大久保北中学校の演奏をバックに2曲歌われ、お越しいただいた地域の方々にも楽しんでいただきました。

大腸CT検査

放射線科

昨今、大腸がんの罹患者が増加傾向にあります。大腸の検査と聞いてまず何を思い浮かべますか?大半の方は内視鏡検査を思い浮かべるのではないでしょうか。実は他にもあるんです!今回はCTを使った大腸検査をご紹介します。

当院ではCTを使った大腸検査(大腸CT)を8年前から外来と健診にて行っています。

検査の方法は、前日に便が残りにくい検査食を食べ、便かどうかを区別できるように造影剤を下剤と一緒に飲みます。下痢になりますが、腸内の便をなるべく無くすためですので頑張ってください。当日は肛門から太さ約5mmの管を挿入し炭酸ガスを入れ、腸を膨らませた状態で2回撮影しま

す。撮影後は炭酸ガスが腸内に残りますが、腸から吸収されお腹の張りは少ないのでご安心ください。検査時間は約20分で、検査結果は1週間程度で出ます。

大腸CTのメリットは大腸以外の腹部臓器も一緒に観察でき、内視鏡と比較してカメラが入りにくい人でも大腸の描出が可能で痛みが少ないと言われています。デメリットは低線量の被ばくがあることや、もしポリープがあっても直接取ることができないなどです。

検査をご希望の方は消化器内科または健康管理センターにてお尋ねください。

